

平成 17 年度 第 5 回理事会議事抄録

日 時：平成 17 年 12 月 17 日（土） 13:00～16:00

場 所：北大医学部保健学科

出席者：藤田龍一（会長）奥村宣久（副会長）村田和香（副会長）

池田望 柿崎貴浩 木村徹 佐藤裕一 藤坂広幸 山田毅 山田好恵

吉岡英章（理事） 坂上哲可（事務局長） 花田和加子 田中織江（書記）

欠席者：藤本清子 水上伸子（理事）

【検討事項】

1．OT 協会との個人情報の取り扱いに関する覚書について

現在、ホットラインにて OT 協会の情報を提供してもらっているが、その際の個人情報の取り扱いについての団体同士の覚書が必要とのことから今月中に提携予定 承認

2．全国 PT・OT 学校連絡協議会北海道ブロック研修会への共催金について

共催金 5 万円の拠出及び PT 士会と調整の上、事務的協力をしていく（研修会開催の案内など） 承認

3．学術部の補正予算について

急性期プロジェクトにかかる補正予算 30 万円について事務局にて確認した結果、来年 8 月までの活動予算であったこと、年会費未納者の影響による現金の確保が困難なことから、今年度分と来年度分に分割し、今年度学術部予算未払い金（5 万 6 千円）と補正予算（7 万 4 千円）を合わせた 13 万円を計上 承認

4．第二次長期 10 カ年計画（案）について

概要は、OT が健康の専門職として、社会貢献・教育研究・営利事業・学校教育・事務局機能強化等を柱とし、かつ専門性の確立、職域拡大を視野に入れている。各理事の意見を徴収しながら各分野との整合性、関係性を再検討し、次回理事会にて最終答申 継続

5．札幌支部について

会員多数だが、支部としての活動が難しいため、今後、理事会で企画、運営方針を立てバックアップしてゆく。具体的には各ブロック代表を選出し、親睦会等の企画、運営を事務局にて調整する。 承認

6．専門作業療法士（仮）制度について

三役会にて検討の上、日本作業療法士協会へ意見書提出（11/10）

（認定作業療法士制度と別の養成システムの導入、専門分野の設定および養成期間の短縮を希望） 承認

その後、協会より平成 17 年度第 6 回理事会（12/17）で答申予定の専門作業療法士（仮）制度設計での審議にて検討との返答あり。

7．その他

1）学術部急性期プロジェクトの成果発表について

来年 8 月を目処に学術誌（北海道作業療法特別号として）にて報告予定。投稿前に理事会にて報告。対外的な学会発表も積極的に取り組む方向で作業を進めていただく。今回の研究成果は士会や個人の業績としてだけでなく、対外的な PR の手段としても大きな意味を持つものであることを再度確認していただく。 承認

2）次次期学会開催地について

学会未開催支部の後志、石狩支部のどちらかで実行委員会を立ち上げ、会場は札幌コンベンションセンター、当日スタッフは札幌支部、学生、業者等協力体制ありで企画する 承認

3）ケアマネージャーの現職者講習で使用される住宅改修ビデオに対する意見書の提出について

厚労省が作成した住宅改修の研修用ビデオの中で、OT の存在が薄く、PT が ADL 等で中心的な指導にあっている場面が多い。また、理由書の記入場面では ADL のみに傾いたものになっていることから、QOL を考慮した理由書であるべきとの内容を OT 協会へ意見書として年明けに提出。 承認

【各部局報告】

<三役会> 11/7,12/13

<総務部> 資料回覧

- ・北海道プライマリ・ケア研究会第42回学術集会のご案内(9/28); H.P 掲載
- ・北海道地域医療研究会「平成17年度定期研究会・総会の開催」のご案内(10/4); H.P 掲載
- ・北海道医療新聞新春特別号の広告掲載依頼(10/11); 申込み(10/28)
- ・月刊誌「メディウエル」新年号広告掲載依頼(10/11); 申込み(10/28)
- ・社)日本作業療法士協会「福祉用具・住宅改修等(基礎)」研修会開催依頼(10/11); 今年度は見送り
基礎コース; 57時間、応用コース; 45時、調査・研究コース; 22.5時間
- ・苫小牧リハビリテーション研究会「第29回研究発表会」後援依頼(10/4); 承諾
- ・吉田学園リハビリテーション専門学校交友会主催講演会の後援依頼(10/5); 承諾
- ・道社協「障害者週間記念事業 平成17年度北海道ノーマライゼーション研究セミナー」開催のご案内
(10/24); H.P 掲載
- ・医療のTQC推進協議会「第7回フォーラム」のご案内(10/24); H.P 掲載
- ・社)日本作業療法士協会「防災時対応ガイドライン作成準備のためのアンケート」依頼(11/1); 事務局にて回答
- ・きたのくに いきいき福祉健康フェア2005開催のお礼とアンケートの依頼(10/25); アンケートは事業部へ依頼
- ・社)日本作業療法士協会表彰候補者の推薦依頼(11/7) 調査中
- ・「第32回日本コミュニケーション障害学会」名義講演依頼(11/17); 承諾(11/18)
- ・社)日本作業療法士協会「個人情報の取り扱いに関する覚書」の締結について(11/21); 理事会審議事項
- ・介護新聞新春特集号への広告掲載依頼(12/1); 未掲載

【出版物・報告関係】

- ・道保健福祉部「平成16年度保健福祉事務所理学療法士(PT)・作業療法(OT)実践報告集
- ・生涯教育制度基礎コース必修研修新人教育プログラム・現職者研修企画運用マニュアル2005.12.3改訂版
- ・財)北海道高齢者問題研究会機関誌「HGR第21号」及び研究紀要「高齢者問題研究会No21」

<渉外部>

【渉外】

- ・北海道議会議員「佐藤ひでみち君を励ます集い」のご案内(9/28); 欠席
- ・社)北海道歯科技工士会元会長長野弘氏厚生労働大臣表彰受賞祝賀会のご案内(10/20); 祝電
- ・札幌市南区基幹型在宅介護支援センター「平成17年度第3回南区介護保険サービス事業所研修会」講演依頼(10/24); 藤田会長
- ・社)日本作業療法士協会「倫理担当窓口設置」と規約確認について(11/7); 藤坂理事が担当継続
- ・専門作業療法(仮)制度設計に関する意見書の送付(11/10) 日本作業療法士協会会長連絡協議会宛に送付
返答(12/5)
- ・日本の医療を守る道民協議会第3回総会の開催案内(11/8) 会長出席(11/16)
- ・「患者負担増・公的保険縮小反対 2005 北海道総決起集会」参加依頼(11/4) 伊藤保険部長出席(11/18)、
会として主旨に賛同
- ・「日本の医療を守る道民の集い」開催への参加依頼及び署名協力依頼(11/18); 会長他7名参加(12/4)、
署名者198名
- ・道保健福祉部地域福祉課「平成17年度介護リフォーム講座の実施について」の講師派遣依頼(11/21) 支部へ依頼(担当窓口; 設楽)
- ・社)日本作業療法士協会「国民皆保険制度を守る署名運動」への協力について(11/24); 道医師会へ送付
- ・全国理学療法士会・作業療法士会学校連絡協議会北海道ブロック主催研修会の共催依頼(11/25); 理事会審議事項 日時; 18.3.21 場所; 札幌 テーマ; 個人情報保護法案と臨床教育 共催金; 5万円
- ・北海道新聞取材「簡単手作り介護の道具」(11/28) 坂上事務局長 12/5 掲載
- ・道保健福祉部「平成18年度秋の叙勲・褒章候補者の推薦」(12/12); 締め切り1/6
- ・新年交礼会; 札幌市医師会(1/5)、北海道医師会(1/6)、北海道柔道整復師会(1/7)、北海道理学療法士会(1/21)
会長出席

【事業】

- ・北海道精神障害者セミナー&キャンプ開催(道OT士会事業部担当)に伴う依頼(11/30) 北海道、札幌市、

札幌市社会福祉協議会、NPO 法人札幌市精神障害者家族連合会、札幌市精神障害者回復者クラブ連合会に送付 北海道、札幌市へ共催依頼中

< 財務部 >

- ・未納者のリストアップ及び督促状の発送(12月予定) 400名分

< 調査部 >

- ・現会員数(9/20); 1506名
- ・名簿の作成準備; 概算で70万程度

< 学術部 >

- ・第3回学術部会議開催(平成17年11月5日 於:旭川市文化会館)
- ・北海道作業療法編集・発行; 第22巻第1号発行(10月1日発行)、第22巻第2号編集作業継続中
- ・学術奨励について; 旭川学会実地審査を行い、学術奨励賞候補者3名を選出
学術奨励賞審査基準の公表について検討中
- ・急性期プロジェクト活動継続; 研究プロジェクトの活動本格化に伴う補正予算について 理事会審議事項

< 教育部 >

- 現職者研修会(老年期) ; 63名(9/17,18)
- 現職者研修会(身障) ; 72名(10/1,2)
- 第3回新人研修会(札幌) ; 128名(10/8,9)
- 第3回新人研修会(函館) ; 27名(10/15,16)
- 第3回講習会(函館) ; 33名(10/16)
- 第4回新人研修会(札幌) ; 114名(10/29,30)
- 第4回新人研修会(帯広) ; 14名(11/19,20)
- 現職者研修会(発達) ; 24名(11/19,20)
- ・現職者研修会については、昨年度よりも受講者が増加増え、新人研修会についても例年、後半受講者減少していく傾向があるが、今年度は順調に推移している。
- ・現職者研修会などの調整のために北海道・東北ブロックでメーリングリストを作成

< 広報部 >

- ・ニュース12月号発行

< 福利部 >

- ・新年交礼会について ; 招待・案内状作成・発送 (日時:1月28日17:30から)
- ・施設情報誌作成について; アンケート締め切り・取りまとめ。施設情報誌作成中。
- ・団体保険について ; 各部会・支部会・学会実行委員会に係る会議情報の収集方法を検討中

< 事業部 >

- ・きたのくにいきいき福祉健康フェア出展(10/14~16)
出展テーマ; 脳力に自信がありますか?
出展内容 ; 脳体操、記憶力テスト、脳の活性化活動として指体操&折り紙体験、OTパネルと作品展示、
OT紹介、相談、各種パンフレット配布、アンケート実施
フェア来場者数 ; 24,638人
OTブース来場者数; 3日間で約200名程度
ブース内で実際になにがしかの活動をした人数 = アンケート回収数 = 139名(3日間)

・支部企画事業

高専との合同開催による市民公開講座実施；根釧支部(11/2) 参加者 7名

講義内容；不自由な体での生活上の不便さ、福祉用具(自助具)の必要性の理解、不便さから道具への発想、
各種自助具の紹介、リーチャーの役割など

製作実習；三脚の脚を利用した伸縮式リーチャー製作

・パネル貸し出し

道学会(旭川)；11/5,6

釧路健康祭り(老健くしろ)；10/2

< 保険部 >

・座談会の開催

テーマ；業務における身近な疑問・問題について

日 時；12/18(日) 14:30 ~ 1 時間程度、札幌秀友会病院

・保険情報収集

医療制度構造改革試案(厚生労働省 10 月 19 日) について

理学療法・作業療法・言語聴覚療法と分かれている現行の診療報酬体系の見直しについて

後日、士会員にニュースもしくは HP 等で情報公開の準備を進めていただく

【委員会他】

< 学会評議委員会 >

・旭川学会報告；参加者 700 名、会場設営をイベント会社に委託したが大きな問題はなかった。オンライン登録件数 71 件、郵送登録 4 件、詳細は別紙参照のこと。次回理事会にて大会長、実行委員長より報告予定

・次次期学会開催地；9 月末締め切りにて応募無し、現在石狩支部及び後志支部に打診中だが、会場の確保や実行委員不足が懸念されるため、支部を超えた広域開催を検討中 理事会審議事項

・学会マニュアルの見直し 作業開始中

< 支部連絡協議会 >

・第 2 回支部連絡協議会会議開催；11/12(土) 13:00 ~ 場所；札幌(北大)

各支部の活動が活発化、来年度の計画案および予算を 1 月中旬まで

各支部主催の研修等に対する保険について、福利部へ調査依頼し検討していく方向

< 企画調整委員会 >

・最終答申の作成

< 規約検討委員会 >

・規約集の整備 進行中

・賛助会員規約の検討

【その他】

特になし

次回理事会 日時：1 月 28 日 (土) 13:00 ~ 16:00 会場：難病センター
